

貸借対照表

2022年3月31日 現在

(単位：千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|---------------|----------------------|------------------|----------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【流動資産】 | 【 1,832,902 】 | 【流動負債】 | 【 147,748 】 |
| 現金及び預金 | 54,613 | 買掛金 | 23,117 |
| 預け金 | 1,632,235 | 未払金 | 42,121 |
| 売掛金 | 115,864 | 未払費用 | 4,839 |
| 製品 | 1,174 | 未払法人税等 | 36,718 |
| 仕掛品 | 2,574 | 未払消費税等 | 21,758 |
| その他 | 26,440 | 前受金 | 16,029 |
| 【固定資産】 | 【 139,526 】 | 預り金 | 3,164 |
| (有形固定資産) | (15,861) | 【固定負債】 | 【 161,363 】 |
| 建物 | 11,381 | 退職給付引当金 | 161,363 |
| 工具器具備品 | 4,480 | 負債合計 | 309,112 |
| (無形固定資産) | (10,984) | 純 資 産 の 部 | |
| ソフトウェア | 8,679 | 【株主資本】 | 【 1,663,317 】 |
| 電話加入権 | 2,304 | 資本金 | (425,400) |
| (投資その他の資産) | (112,681) | 資本剰余金 | (278,193) |
| 出資金 | 2,875 | 資本準備金 | 278,193 |
| 差入保証金 | 51,985 | 利益剰余金 | (959,723) |
| 繰延税金資産 | 57,296 | その他利益剰余金 | 959,723 |
| その他 | 524 | 繰越利益剰余金 | 959,723 |
| 資産合計 | 1,972,429 | 純資産合計 | 1,663,317 |
| | | 負債及び純資産合計 | 1,972,429 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

| | |
|-----|---------------|
| 商品 | : 移動平均法による原価法 |
| 製品 | : 移動平均法による原価法 |
| 仕掛品 | : 個別法による原価法 |
| 貯蔵品 | : 最終仕入原価法 |

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 : 定額法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 : 8年~24年

: 定率法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品 : 4年~20年

無形固定資産 : 定額法

なお、自社利用目的のソフトウェアについては、見込利用可能期間(5年以内)に基づく定額法、但しサービス提供目的のソフトウェアについては5年以内の見込収益獲得期間に基づく定額法

3. 引当金の計上基準

退職給付引当金 : 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額(期末自己都合要支給額の100%を計上する簡便法)に基づき、計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法 : 税抜方式によっております。

II 当期純利益

112,065千円